

2013富士山周遊ドライブ10「第8話」

■ 第8日目(11/11 月)

「富士山四合目」そして「箱根 大涌谷」から河口湖へ

富士吉田のシティホテルでの明け方「寒いな～！」と感じながら5時に起きてみると、エアコンのスイッチがオフになったままであった。



バスタブに

お湯を張り、身体を暖めて、身支度を整える。

今回の旅も、早いもので 8日目の朝です。何時も旅行の後半は、あら・あら・あら という間に、一日一日が加速度的に過ぎてゆきますから不思議です。

今日と明日の日程は、意識的に「フリー」にしておいたのです。 旅先で気づくことや・地元で得る情報などによって、観光の日程を加えたい場合がおこるからで



す。□

さてそ

こで、今日一日をどう使おうか?...と考えていました。

空を見ると天気は良さそうです。

□□富士山の五合目まで登ってみようか!!」..... そう決めたのでした。

7 時少し過ぎからホテルのレストランで朝食をとり、8時には、ホテルを出発しました。

気温は8 ・ 無風で穏やかな朝です。



□スカイライン

入りの料金所で、係員が ...

□道路凍結のために、四合目までしか登れないよ」と言うのです。

そして「規制解除は、何時になるか判らないよ」...とも言われた□

..... が、とりあえず、行ける処まで登ることにしたんです。



一合目は標

高1,405メートル・気温7℃です。

この辺りの樹木は、既に落葉しています。



樹木名は判

らないが、落葉樹の間に、常緑樹かなと思える樹が多くなりました。

標高1,625メートルのこの辺りでは、その常緑樹の背丈が低くくなっています。



標高1,738メー

トルでは、気温は4 です。

さらに三合目は1,800メートル・この辺りで、登って行く除雪車を追い越しました。

□am 8:46□標高が1,833メートルとなり、霧の中に入りました。

□am 8:50□**四合目の大沢駐車場に到着 ... 登山道路はゲートで固く閉められていまし**



た。

ここは

標高2,020メートル・気温2 です。

観光バスが、7・8台登って来ていました。中国からの観光客がいっぱいです。



□



団体観光客

は、除雪作業が進み規制解除になるのを待っている様子です。

時折り雲が切れて、山頂がわずかに見え隠れしています。せっかくここまで登って来たからと、数枚の写真を撮っては観ましたが、ここからでは全く絵になりませ



ん。

□



私たちも

暫くは、道路が開通するのを待って見たんです。

...が、すぐに開通しそうな様子も感じられません。諦めて山を下りることにしました。

後になって思い出したのですが ... **気温7 が、冬タイヤへの履き替えサイン**だということを、すっかり忘れていましたね。

私たち九州人には、そうした観念が薄いです。 今後、こうした寒冷地のドライブを楽しむためには、計画の時点でしっかりと、チェックしておく必要があると思ったものです。

9時15分 「箱根」に向けて車を走らせることにしました。



9:40 河口

湖ICから高速道路に乗ります。そして10:00には高速道路を降りたのでした。

□仙石原のススキ高原の横を通ります。仙石原のススキ高原は、足柄山の金太郎で有名な、「金時山」の南麓(標高700m)に広がる高原です。



周囲には、

美術館やゴルフ場が造られ、多くの温泉旅館や寮 保養所、別荘があるそうです。一面のすすき草原です...黄金色の絨毯を敷き詰めたかのように色づいたススキの穂が、日の光を受けてキラキラと輝やいています。

こうした風景を車窓から眺めながら、箱根ロープウェイの乗り場「桃源台駅」□に、10時40分ころに到着しました。



☐箱根ロープウェー

イの起点となる桃源台駅は、芦ノ湖 湖畔にあります。

☐箱根海賊船、小田急箱根高速バス、箱根登山バスの発着所でもあり、駅構内には、レストラン、売店などの施設が充実しています。





この桃源台

駅からロープウェイに乗ることにしました。





そして、**大涌谷駅**で一旦 ロープウェイを降りて、次の「**早雲山駅**」へと、さらにロープウェイを乗り継いで行きます。





ロープウェイ

いで、迫力満点の絶景が、気軽に楽しめるのは良いですね。

■大涌谷■早雲山間（往復約20分）だと聞いています。

■大涌谷を出発すると、昔は「地獄谷」と呼ばれていた地上から1300mの高さの谷が現れます。空から眺めると白煙上がる景色が真下に見え、迫力満点の絶景ですよ。







こうして降り立った「早雲山駅」で、暫くの間、周りの景色を撮影した後、再び、ロープウェイで、大涌谷へと引き返します。



早雲山駅から大涌谷までは、山の急斜面をぐんぐん登っていきます。小さくなっていく駅舎

や町並み、眺めが徐々に広がり、まるで空中を歩いているようですよ。



そして、山を登りきった処 大涌谷の手前からは、一気に広大な景色が広がり、物凄い迫力が



あります。
お天気が良いと、下のポスターの写真のように「富士山」も観られるそうです。



こうして、大涌谷に戻って来ました。駅2階のレストラン『大涌谷 駅食堂』へ行きます。この店内からも、迫力ある大涌谷の絶景が楽しめます。



ランチにおすすめるは「特製 大涌谷カレー」とありました。
本格的なカレーのようで、早速に注文をしランチタイムとしました。



ここは、九

州の山でもよく見かける「地獄谷」ですね。

□箱根の山が活火山であることの証明ですね。



大涌谷は、約3,000年前の箱根火山最後の爆発によってできた火口の跡で、荒涼とした大地には白煙が立ち込めています。

現在も火山活動の迫力が感じられます。江戸時代までは、"地獄谷"と呼ばれていたそうです。名物の「黒玉子」が、あちこちで売られていて、沢山の観光客が食べています...ランチを終えたばかりの私たちは、買うのを諦めることにしました。



一通り、土
産品店を覗いた後、大涌谷を後にして、桃源台駅へと降りました。

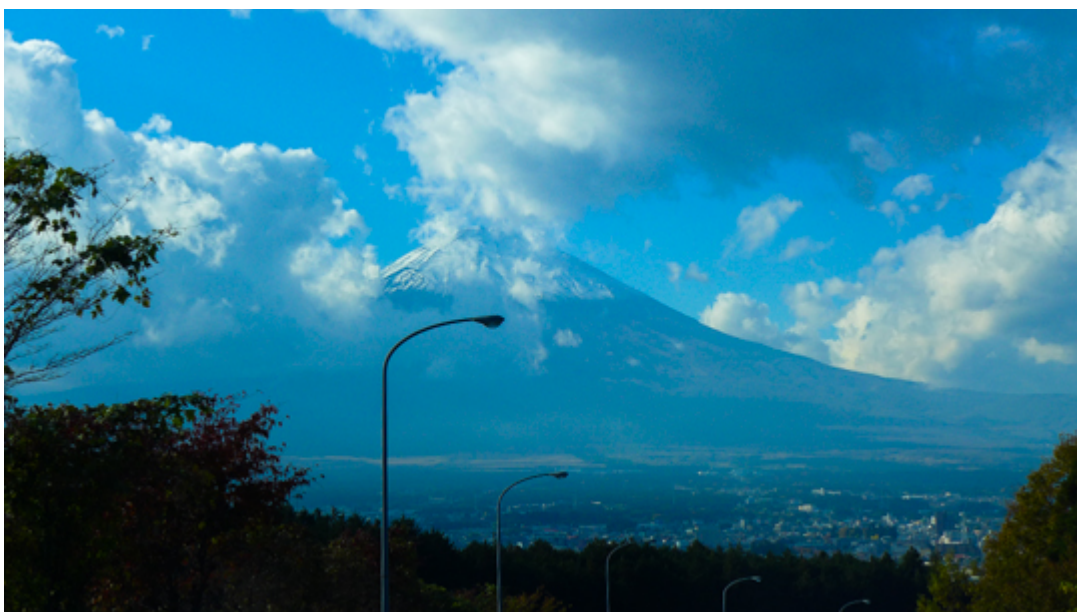




13:50 駐車

場に戻って、箱根を後に、御殿場アウトレットを目指して走ります。

午後2時を過ぎた頃、青空が見えてきました。遠くに、富士山も見えて来ました。



□pm 2:25□御

殿場プレミアムアウトレットに到着です。



運転をひと

休みするために、このアウトレットの通りを、ゆっくり散策です。
そして、暫くの間 カフェでお茶にしたんでした。





買物をする

目的はありません...何気なく数店舗を、ウインドウ・ショッピングして周り、午後4時過ぎ・このアウトレットを出発しました。

□pm 4:23□須走ICから高速道路に乗り、途中「かご坂トンネル・長さ2,995m□を通過します。





そして、富

士吉田ICで高速道路を下り、河口湖にpm 4:40に到着です。

すっかり陽が暮れた5時頃に、ホテルに入りました。



部屋に入ると、青々とした綺麗な畳敷きです。今回の旅行で、畳の部屋は始めてです。





□ ベランダは広

く、何と「足湯」の設備までもがあります。



そのベラン

ダから、河口湖を挟んで富士山が真正面に見えています。

□なんと素晴らしい景色でしょう

!!



□早速 浴衣姿

に着替えて大浴場に行きました。その外湯から、富士山が真っ正面に見えています。ここでも、周りには人がいません。そうです!!...独り占めの露天風呂で~す!!

□

こうして楽しんだお風呂上がり...大浴場の出口には、生ビールなどのドリンクサービスがなされていました。そこで飲んだ生ビールの美味しいこと!!...嬉しいサービスです。

部屋で飲まないでいいようにと、少々欲張り気味の飲み方となりましたね。

そして夕食は「部屋食」となりました。



料理が

次々に運ばれて来て、とても全ては食べ切りません。



□ご覧戴いてい

る皆さまには、画像だけで申し訳ないですね。

ご参考までに、見てやって下さい

!!



夕食後、テ

ラスの足湯に浸かりながら、すっかり時間が経つのを忘れて、シルエットの富士山と、河口湖の湖畔に光る灯りを眺めていたものです。

明日はこの河口湖を後にして東京へ戻ります。

なので、富士山とも、別れを惜しんだ夜となりました。



今宵の宿は、

河口湖の「秀峰閣湖月」です。

「ご覧いただきましてありがとうございました。
...ではまた次回にお会いしましょう。」